



アカウミガメの産卵地守れ

御前崎中学校の1年生102人と2年生121人が5月18日、同校伝統行事の「亀バックホーム大作戦」(御前崎海岸清掃)に取り組みました。この活動は、天然記念物に指定されているアカウミガメの生息環境を改善するとともに、地域の自然を大切にする心を醸成することを目的としています。生徒たちは、手際よくごみを拾っていました。

◀協力して大きな漂着ごみを海岸から取り除く生徒たち



アカウミガメ初産卵を確認

御前崎ロングビーチで5月24日早朝、アカウミガメの初産卵が確認されました。産卵跡を見つけたウミガメ保護監視員の横山俊明さん(広沢区)が、深さ約50センチほどの地中から105個の卵を掘り起こし、アカウミガメふ化場に移殖しました。横山さんは「今年初の産卵を確認できてひと安心。引き続き保護活動に力を入れていきたい」と決意を新たにしました。

◀地中から慎重に卵を掘り起こす横山さん



手づくりカレーおいしいね

食べ物を大切にする豊かな心を養うことを目的としたカレーパーティーが6月8日、白羽幼稚園で開催されました。同園年長児は、自分たちで育てたじゃがいもなどの食材の切り方を学んだ後、市栄養士・市栄養友の会が調理したカレーを食べました。

中山ももちゃん(白羽)は「みんなで作ったカレーはすごくおいしい」と満足そうに頬張りました。

◀「包丁を使うときは猫の手だよ」と市栄養友の会員から教わる園児



飼育してきたウミガメ放流

学校の伝統としてアカウミガメを飼育している御前崎小学校の児童が6月16日、下岬海岸で子ガメ6頭を放流しました。

児童は、打ち寄せる波に押し戻される子ガメに「頑張れ」と声を掛けながら見守りました。子ガメが引き波に乗って海に姿を消すと、「大きくなって御前崎に戻ってきてね」と手を振って見送っていました。

◀約1年間飼育した子ガメを海に放流する児童